

会議録

会議名：令和8年度第1回横須賀市地域公共交通活性化協議会

日時：令和8年4月28日（火）13時00分～14時20分

場所：横須賀市役所本庁舎1号館10階 第2委員会室

出席者：中村委員、嶋田委員、国分委員、森田委員、植田委員、八木委員、
山田委員、坂本委員、高橋代理（梅谷委員）、藤本委員、永澤委員、
皆川委員、鈴木委員、中川委員、竹森代理（万木委員）、藤田委員、
伊藤委員、三浦委員

オブザーバー：SAGAMI TAXI 株式会社 山口氏、ソフトバンク株式会社 木下氏

事務局：都市計画課 齊藤課長、桐ヶ谷課長補佐、鈴木主任、阿部

傍聴者：なし

【次第】

- 1 開会
- 2 委員委嘱
- 3 委員紹介
- 4 議題

（1）会長の互選について〈資料1〉

事務局：会長につきましては、横須賀市地域公共交通活性化協議会条例第3条に基づき、委員の互選によるものとされています。会長は、会務を総理し、会議の議長となります。会長の選出にあたりまして、何かご意見等はございますか。

三浦委員：大変恐縮ですが、都市交通計画がご専門で、知識・経験が豊富な放送大学教授の中村委員にお願いすることが良いと考えます。

委員：異議なし

事務局：異議なしの声がありましたので、よろしければ拍手をもって、ご承認いただきたいと思えます。

委員：（拍手）

事務局：ありがとうございました。横須賀市地域公共交通活性化協議会条例第3条第3項に基づき、あらかじめ会長の職務代理者を定める必要がありますので、中村会長に委員の中から職務代理者の指名をお願いします。

中村会長：横須賀市都市部長の三浦委員をお願いします。

三浦委員：承知しました。

事務局：三浦委員、よろしくお願いします。

以降の進行は、中村会長にお願いいたします。

(2) 横須賀市地域公共交通活性化協議会運営要領(案)について〈資料2〉

(3) 横須賀市地域公共交通活性化協議会傍聴実施要領(案)について〈資料3〉

中村会長：議題(2)本協議会の運営要領(案)及び議題(3)傍聴実施要領(案)について、一括して事務局から説明をお願いします。

事務局：【議題(2)、(3)説明】

委員：(質疑なし)

中村会長：今後はこの要領に基づき、本協議会の開催及び運営を行います。

(4) 横須賀市地域公共交通計画について〈資料4〉

中村会長：議題(4)横須賀市地域公共交通計画について、事務局から説明をお願いします。

事務局：【議題(4)説明】

中村会長：バス事業者としてもバス路線の再編は課題として認識しているのでしょうか。

植田委員：令和9年9月に予定している営業所の再編等を含めてバス路線の再編も検討したいと考えています。

中村会長：福祉分野や観光分野との連携はお考えでしょうか。

事務局：資料には記載しておりませんが、庁内で連携していきたいと考えています。

中村会長：先行して地域公共交通計画を作成している自治体の優良事例を参考にしながら、交通事業者が継続して運行できる計画を作成してください。

(5) ハマちゃんバスについて〈資料5〉

中村会長：議題(5)ハマちゃんバスについて、事務局から説明をお願いします。

事務局：【議題(5)説明】

八木委員：運賃改定の時期や検討方法についての考え方を教えてください。

事務局：運行当初より燃料費や人件費が高騰しているため、運賃改定は検討課題ではあるものの、現金收受のみであることから、10円単位の改定は運転士への負担が大きく、交通系ICカード決済の導入後に検討したいと考えています。

山口氏：利用者が高齢なこともあり、どうしても支払いに時間がかかってしまいます。運転士の負担軽減や運行をスムーズに行うためにも、交通系ICカード決済の検討を進めていきたいと考えています。

八木委員：運転士の人材確保はできているのでしょうか。

山口氏：ハマちゃんバスの運転士も高齢化している中で、普段タクシーを運転している若い運転士も採用しています。

ハマちゃんバスを運行するためには、中型二種免許が必要なため、免許取得費用を負担してきましたが、今年度より市から免許取得費用の一部について補助を受けられることもあり、少しずつ確保できるものと見込んでいます。

中村会長：利用者協議会の会長でもあります嶋田委員から何かご発言はありますでしょうか。

嶋田委員：ボランティア運行時から燃料費の工面は苦労していました。運賃に関しても、事業化するにあたり、料金設定が高いと感じられる利用者もいました。

中村会長：独立採算にこだわって運行事業者だけに負担がかかることのないように、様々な仕掛けを関係者間で考えてください。

（6）路線バス自動運転導入プロジェクトについて〈資料6〉

中村会長：議題（6）路線バス自動運転導入プロジェクトについて、事務局から説明をお願いします。

事務局・京急バス：【議題（6）説明】

中村会長：令和7年度にあげられた課題は、解決できたのでしょうか。

植田委員：今年度の実証実験で解決したいと考えています。

中村委員：令和9年度の単年度で全区間の許認可を取得できる見込みでしょうか。

事務局：全区間のレベル4許認可を取得できるよう進めてまいります。ただ、いくつか課題もありますので、実証実験の中で対応していきたいと考えています。

八木委員：自動運転は交差点の右折の難易度が高いと想像されますが、本実証実験のルートにおける右折時に想定される課題はありますでしょうか。

植田委員：課題はありますが、自動運転に適したルート選定をしていますので、実装可能なルートではあると考えています。

中村会長：アメリカや中国では、路上駐車車両や歩行者を回避する技術を搭載した自動運転タクシーが利用されています。技術進歩は凄まじく、3年後は全く違うものになっていると考えています。YRP 地域においても、他都市の事例を参考にしながら、より良い技術を導入してください。

（7）路線バスの終発時刻について〈資料7〉

中村会長：議題（7）路線バスの終発時刻について、事務局から説明をお願いします。

事務局：【議題（7）説明】

中村会長：時刻表はどの程度の頻度で更新していますか。

事務局：時刻表の大きな改正があった際に行っています。

中村会長：タクシー関係者からコメントはありますか。

山田委員：事前に資料をいただいておりますので、運転士に周知していきたいと思います。

坂本委員：毎月の広報で資料の内容をお伝えしております。

中村会長：終電車や終バスの時刻は調べれば分かることですが、私の知る限り、このように一覧化した資料は全国にありません。非常に良い取り組みですので、ぜひ続けてください。

以上をもちまして、本日予定しておりました議題は全て終了しました。

皆様のご協力により、議事を円滑に進めることができました。

進行を事務局へお返しします。

5 閉会

事務局：中村会長ありがとうございました。

横須賀市では、本協議会と道路運送法に基づく地域公共交通会議を別に設置しています。コミュニティバスの運行など、地域公共交通会議において関係者の合意が必要とされる事案がある場合に開催いたします。なお、地域公共交通会議の委員は、本協議会の委員を兼ねていますので、ご負担とならないよう、可能な限り同日に開催したいと考えております。また、これまで地域公共交通会議の中で報告していたハマちゃんバスや自動運転導入プロジェクトにつきましては、どちらかの会議が開催の際にご報告いたします。

以上をもちまして、令和8年度第1回横須賀市地域公共交通活性化協議会を閉会します。次回は12月の開催を予定しておりますので、よろしく願いいたします。

本日は誠にありがとうございました。